

# 小児ワクチン接種判断ツール

誤接種を防ぐためにワークフローを標準化しましょう。

App URL : <https://vaccine-checker.onrender.com/>

# 開発背景

## 開発者目線

- 小児ワクチンの接種には様々な規定が存在する。
- 規定が複雑であるため、規定に反した接種が行われることがある。
- 規定に反するとワクチン代等が病院負担になる。(規定期間であれば公費負担)
- 小児科専門医でない医者の中には、小児ワクチンの規定に慣れていない医者もいる。
- 医療事務職員によるダブルチェックは、カルテの接種履歴と規定が記された表を見比べることで行われており、慣れが必要とされる。これは人的ミスの原因となり得ること、業務が属人化されていると言う点で課題である。
- IT業界(特に開発)について理解を深めたかった。
- ガクチ力を作りたい。

# 利用目的

- ワクチン接種の可否を判断する作業を標準化してミスを減らす。
- 育成期間の職員であっても従事できる業務にする。
- 病院の不要な損失を最小化する。

## 留意点

- 医療事務の業務はスピード感が求められること。
- ワクチン接種情報は要配慮個人情報であること。

# 機能詳細

- 利用シーン  
ワクチン接種希望者がワクチン接種の受付をした後、ワクチン接種をするまでの間、接種可能か確認する時。
- 操作フロー
  - 接種日、誕生日、接種しようとするワクチンとその回数を入力後、送信する。同時接種希望の場合、複数種を入力可能。
  - 接種に伴う確認事項と注意事項と定期接種期間一覧、次回接種情報が表示される。確認事項にはチェックボックスが付随しており、任意でチェックすることができる。
- 必要なデータ  
各ワクチンの最大接種回数と、それぞれの接種回数に応じた接種制限。また生ワクチンか不活化ワクチンかのデータ。定期接種の対象月齢のデータ。

# 開発フロー

1. 問題提起←母のボヤキ
2. ヒアリング
3. 設計
4. 開発←一部機能未実装
5. (テスト)←今後実施予定

>>> 1ヶ月で開発したい <<<

But...

Web開発→未経験

JavaScript, HTML, CSS→未経験



主にChatGPTに書いてもらった。

# 使用言語

- ❖ フロントエンド→ピュアなJavaScript、HTML、CSS
  - 選定理由  
フレームワークを使う勇気がなかった。初めからフレームワークを使うのではなく、JavaScriptの基本を理解することが重要であると聞いたことがあったから。
- ❖ バックエンド→Flask
  - 選定理由  
Pythonの経験があったから。小規模なアプリだったため、Pythonの速度で十分であると判断したから。